

640幅防水パン用直下排水キット HO-P10 取扱説明書

このたびは、直下排水キットをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。(据付説明書もあわせてご覧ください)
※設置作業は2人で行ってください。

注意

- ・この直下排水キットは、640幅の防水パンに、本体を設置するときに使用してください。
- ・640幅の防水パン以外で、本体の下に排水口がある場合は、直下排水L形パイプ「HO-P5」を使用してください。

適用機種：<内面フラット排水ホース>

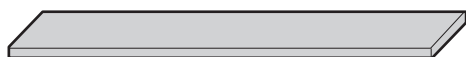
BW-D9PV/D10SV

<内面フラット排水ホース以外>

BW-D9GV/D9HV/D9JV/D9KV/D9LV/D9MV

部品の種類

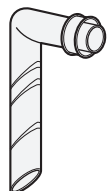
●次の部品がそろっているかお確かめください。



パッキン(1個)



接着剤(1個)



L形パイプ(1個)



脚キャップ(3個)



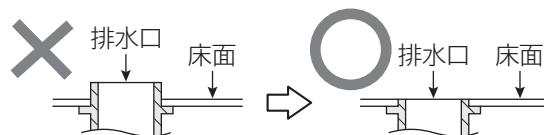
ホースクリップ(1個)

据え付け前の準備

●据え付ける前に必ず確認してください。

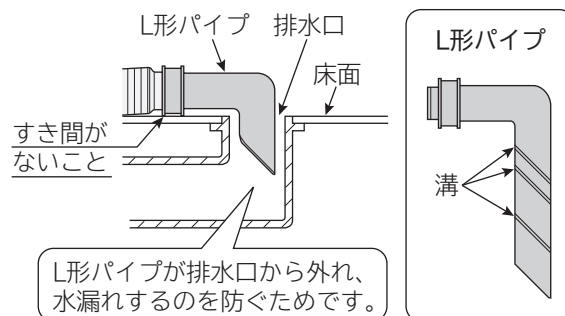
1 排水口が床面より突出している場合は、床面まで切断する

- 突出部が切断できない場合、本部品は使用できません。



2 排水口の深さを確認する

- L形パイプの先端が排水口の底に当たる場合や、底とのすき間がない場合は、L形パイプの溝部を切断して調整してください。
(切断時にできる角部(突起)は、十分に取り除いてください)



3 L形パイプと床面間にすき間がないことを確認する

- 洗濯乾燥機の部品に接触するのを防ぐためです。

ご注意

- L形パイプを切断の際には、けが防止のために手袋を着用してください。

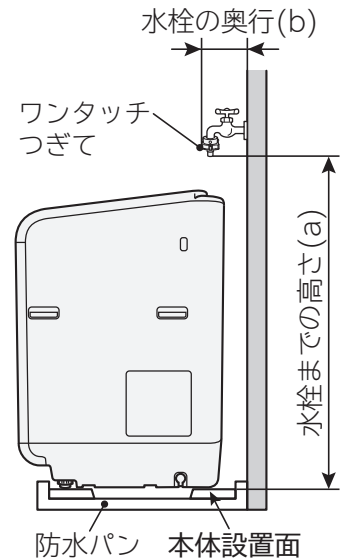
据え付け場所について

■水栓の位置を確認してください。

- 水栓の位置によっては、水栓に給水ホースや本体が当たるため、設置できない場合があります。
- 防水パンの**本体設置面**から水栓までの高さ(a)を測定します。
- 水栓にワンタッチつぎてを取り付けた状態で測定してください。

本体設置面から水栓までの高さ(a)	水栓の奥行(b)	設置可否
1260mm以上	—	設置可能
1260mm未満	120mm未満	設置可能
1150mm以上	120mm以上	設置できません
1150mm未満	—	設置できません

※ふたを開閉したときに、ふたが水栓に当たらないことを確認してください。



■防水パンの形状について

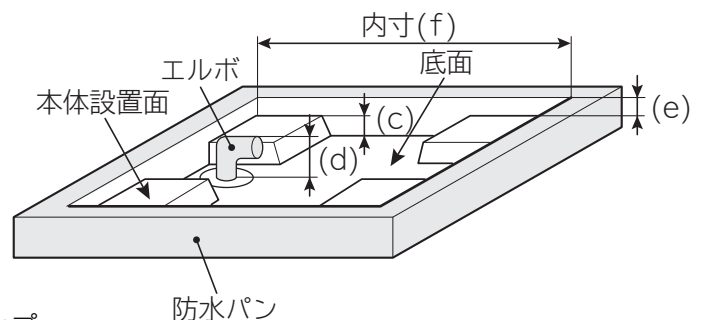
- 外形640mm×640mmの防水パンで、真下に排水するときを使用できます。
- 防水パンが床に固定されていることを確認してください。
防水パンが固定されていないと、振動により防水パンの破損や本体の転倒などにより、水漏れなどの思わぬ被害を招くことがあります。
- 防水パンの底面から本体設置面までの高さ(c)が28mm未満の場合は、排水ホースがつぶれるため設置できません。
- 防水パンの内寸によっては、設置できない場合がありますので確認してください。

設置面高さ(c)	設置可否
32mm以上	設置可能
32mm未満 28mm以上	脚キャップ使用で 設置可能
28mm未満	設置できません

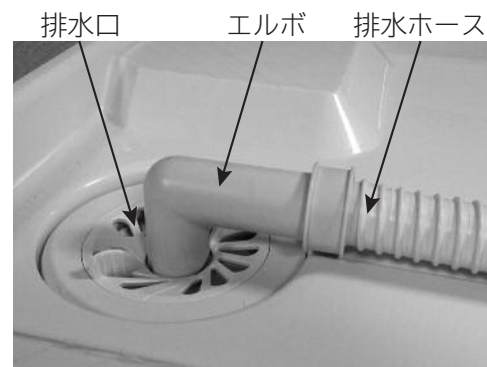
防水パン内寸(f)	設置面深さ(e)	設置可否
610mm以上	—	設置可能
610mm未満 575mm以上	10mm未満	設置可能
	10mm以上 14mm未満	脚キャップ使用 で設置可能
	14mm以上	設置できません
575mm未満	—	設置できません

■排水トラップを使用する場合

エルボと設置面の段差(d) - (c)	設置方法
7mm未満	エルボ使用
7mm以上	L形パイプ使用



- L形パイプを使用せず、排水ホースを排水トラップのエルボに差し込んで使用してください。
本体が、内面フラット排水ホースの場合は、排水ホースの先端にホースピースが接続されていることを確認してください。
- エルボの高さ(d)が本体設置面より7mm以上の場合は、エルボと本体が当たるので、エルボを排水トラップから外し、L形パイプを使用してください。
- 防水パンに排水トラップが取り付けられている場合は、L形パイプが排水口に入らないことがあります。
入らない場合は、設置できません。



据え付け方法

●据え付け前の準備を行ってください。

1 排水ホースをセットする

※BW-DV9Fの場合は、「据え付け方法」①～③を、本体同梱の据付説明書P6の「2 据え付け方法」の1～3に置き換えて据え付けしてください。

1. 本体を静かに後側に倒し、排水ホースを本体右後ろまで取り外す

●傷つき防止のため、ダンボールなどの上に静かに倒してください。



前面を上静かに倒す



右後ろまで排水ホースを外す

2. 排水ホースを外枠ベースのホースフックに固定する

排水ホース先端側

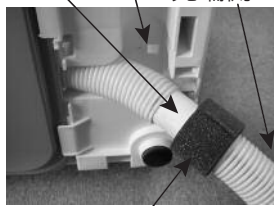


ホースフック

ホースフックがない場合

●パッキンは破れやすいので、強く引っ張らないでください。

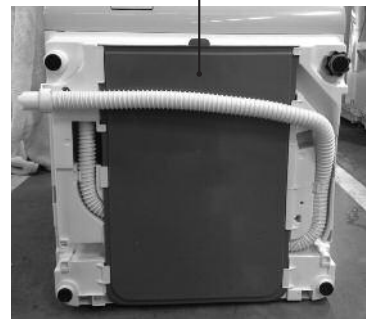
くびれ 溝 排水ホース先端側



パッキンを巻きつけ、外枠ベースの溝にはめ込む

3. アンダートレイを取り付ける

アンダートレイ

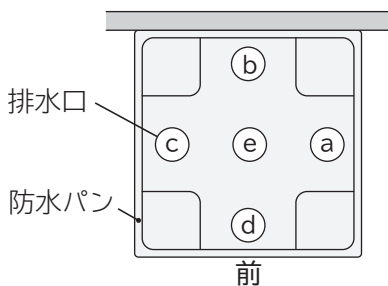


2 排水ホースの引き回しかたを決める

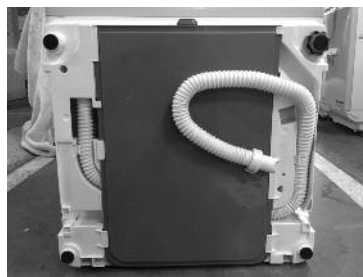
●排水口の位置に合わせて、排水ホースの引き回しかたを決めます。

●排水ホースが防水パンと本体につぶされないように調整します。

排水ホースの引き回し例



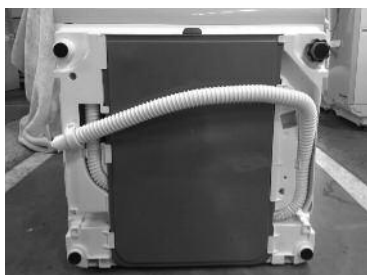
a.排水口が右側にある場合



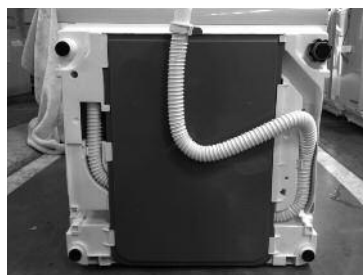
b.排水口が後側にある場合



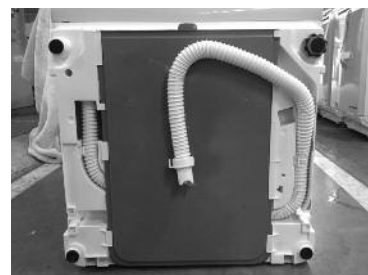
c.排水口が左側にある場合



d.排水口が前側にある場合



e.排水口が中央にある場合



据え付け方法 (続き)

③ 排水ホースとL形パイプを接続する

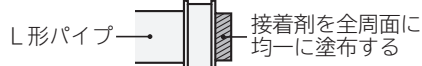
内面フラット排水ホースの場合

1. 必要な長さのところでホースをはさみやカッターなどで切断する

切断面は均一にしてください。



2. L形パイプの全周面に接着剤を均一に塗布する



3. 接着剤を塗布したL形パイプを回しながらホースに挿入する

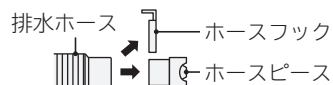
このとき、ホースをねじらないように注意してください。



4. L形パイプの向きは、排水ホースの先端を排水口の位置に合わせたとき、L形パイプの先端が本体真下を向くように取り付ける

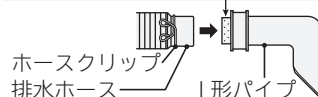
内面フラット排水ホース以外の場合

1. 排水ホースの先端についているホースピースとホースフックを外す



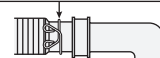
2. L形パイプの全周面に接着剤を均一に塗布し、ホースに挿入する

接着剤を全周面に均一に塗布する



3. 付属のホースクリップを装着する

ホースクリップを横向きに装着する



4. L形パイプの向きは、排水ホースの先端を排水口の位置に合わせたとき、L形パイプの先端が本体真下を向くように取り付ける

④ 本体を据え付ける

1. 本体を防水パンに据え付ける

●L形パイプと排水ホースがつぶれないように注意してください。

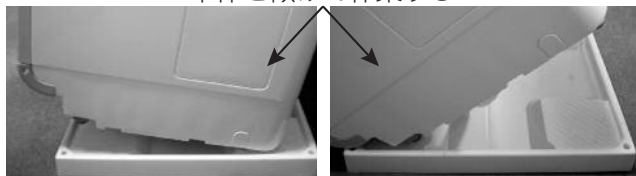
2. 図のように本体を傾けて、L形パイプを排水口に入れる

●L形パイプと防水パンとの間に隙間がないように入れます。

●作業は、アンダートレイを取り付けた状態で行ってください。

アンダートレイを取り付けていない状態で、本体の下に手を入れると、内部の部品と接触してけがの原因となります。

本体を傾けて作業する



後側に倒した場合

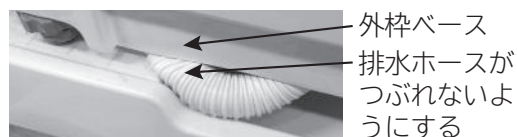
前側に倒した場合



3. 排水ホースがつぶれたり、浮き上がりが無いことを確認する

●右後方の排水ホースを引き出した位置は、排水ホースがつぶれやすいので、確認してください。

●排水ホースがつぶれた状態で使用すると、排水ホースが破れて水漏れの原因となります。



外枠ベースの右後方

⑤ 試運転を行う

●試運転を行うときは、洗濯乾燥機の据付説明書をご覧ください。

ご注意

- 排水ホースを切断の際には、けが防止のために手袋を着用してください。
- 排水ホースを指定部以外で切断しないでください。水漏れの原因になります。
- 接着剤を塗布していなかったり、L形パイプ全周に塗布されていないと、水漏れの原因になります。
- 取り付け後は十分に乾燥してください。
- 取り付け後は本体を試運転し、異音、水漏れのないことを確認してください。
- L形パイプの先端がふさがっていないか確認してください。排水口が浅く、先端がふさがった状態になると、排水が悪くなります。
- 本体が正しく設置されていないと、振動や騒音が大きくなる場合があります。
- アンダートレイは取り付けてください。アンダートレイを取り付けていないと、運転中に排水ホースが浮き上がり、ほかの部品と接触し、ホースが破れて水漏れするなど、思わぬ被害を招くことがあります。

日立グローバルライフソリューションズ株式会社

〒105-8410 東京都港区西新橋2-15-12
電話 (03) 3502-2111